

# 競技注意事項

2017 第1回名古屋地区競技会

1 本大会は2017年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

\*この競技会の記録は、日本陸連の公認対象です。

\*本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

2 ナンバーカード（ビブス）について

(1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけで構いません。走幅跳、三段跳は、胸につけるだけでも構いません。

(2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさで明確に数字が読めるようにつけてください。

(3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却してください。

3 ウォーミングアップ場について

(1) ウォーミングアップ場は、原則として瑞穂北陸上競技場・レクリエーション広場とします。  
最終種目の招集開始時刻まで使用できます。

北陸上競技場で競技を実施している場合には、競技役員の指示に従ってください。

※レーン使用区分は原則として次のとおりとします。

1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル。

(2) 1日目は、9:45から13:00まで、2日目の10:30から14:00まで本陸上競技場のバックストレート部分もウォーミングアップ場として使用できます。ただし、他種目の競技進行の妨げにならないように競技役員の指示に従ってください。

(3) フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従ってください。

(4) 瑞穂陸上競技場2階室内雨天走路の使用については、晴天時はジョギング程度の使用とします。雨天時は競技役員の指示に従ってください。

(5) 競技開始前の本競技場のトラックは、大会の準備に支障のない範囲で出場競技者に限って、ウォーミングアップのために最初のトラック競技開始時刻**30分前**まで使用しても構いません。それ以降は、ハードル種目出場者のみ練習を許可します。

練習での各ハードルの置き方は以下の通りとします。

1日目は、3レーン中学女子100mH、4レーン女子100mH、6レーン中学男子110mH、7レーン男子U18110mJH、8レーン男子110mHとします。

2日目は、7～8レーンを男子用の高さとします。

(6) 競技開始前の本競技場の練習では、持込の牽引用チューブやミニハードル等の使用は禁止します。使用した、競技用の器具（スターティングブロック、ハードル等）は練習終了後、元の位置に戻してください。

4 招集について

(1) 招集所は正面スタンド下、100mスタート付近競技者ホールに設けます。

すべての種目の招集をこの場所で行います。北陸上競技場で実施される種目に出場される方は、移動時間を考慮してください。

(2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。

(3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	35分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	60分前	40分前

(4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めますので競技者係主任（招集所）に事前に申し出てください。

## 5 競技場への入退場について

- (1) 入場は競技役員の指示に従い行ってください。
- (2) 退場は、下記のとおりとします。

トラック競技 フィニッシュ地点退場口から2階の雨天走路を経て退場してください。

フィールド競技 競技場所から近い出入口から退場してください。

## 6 レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
- (2) 欠場者のレーンは100m～400mではあけます。800mについては競技役員の指示に従ってください。ただし、欠場の状況によって組の移動を行う場合があります。
- (3) リレー種目で、欠場チームが多い場合は組み合わせを変更する場合があります。事前に欠場がわかっている場合には、本部までお知らせください。

## 7 競技について

- (1) トラック競技について

**すべての種目をタイムレースで実施します。**

**この大会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施します。**

- ①スターターの合図は英語とします。（「On your marks」、「Set」）
- ②すべて写真判定装置を使用します。
- ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。
- ④番組編成は申込記録上位から1組、下位を2組以降とすることを原則とします。リレーのみ、申込記録下位から1組、上位を2組以降とします。
- ⑤男子5000mWはスタート後**33分**、女子5000mWはスタート後**38分**で**最終周回に入れなかった場合**レースを打ち切ります（リザルト上、オーバータイムによる失格とします）。
- ⑥男子5000mはスタート後20分、中学男子・女子3000mはスタート後15分でレースを打ち切ります。
- ⑦**同タイムの着差は、1,000分の1秒差まで考慮します。**
- ⑧レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができません（DNFとなります）。
- ⑨**リレーのオーダー用紙提出は、すべての組が1組の招集完了時間1時間前とします。**

- (2) フィールド競技について

長さを競う競技の番組編成は申込記録下位から1組、上位を2組以降とします。

トップ8は実施しません。

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従ってください。
- ②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。
- ③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できません。
- ④三段跳の踏切板は、男子**11m**・女子**9m**で行います。
- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条2bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができません。
- (4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色（斜め半分形）のカード、除外は赤黒色（斜め半分形）のカードを示すことによって競技者に知らされます。
- (5) 各種目8位まで賞状を授与します。

## 8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

（ただし、天候等の状況により変更する場合があります。）

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳 1組	1m60	1m85	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	以後3cm
	1m40	1m65	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m85までは5cm、以後3cm
男子棒高跳 2組									
男子棒高跳 1組	3m00	4m00	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以後10cm
	1m40	1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65		以後3cm

女子走高跳 2組	1m25	1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m65まで は5cm、 以後3cm
女子棒高跳	2m20		2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳では5cmとします。

## 9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

## 10 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

## 11 瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 今回の開門時刻は、午前8時00分とします。それ以前には立ち入らないでください。また、申込数に応じて、2F3Fのバックスタンド裏の待機場所を指定しますので、**場所取りは行わない**でください。
- (2) バックスタンドの上部以外には応援幕等を張れません。
- (3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入ってはいけません。
- (4) **清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行い、環境美化に努めてください。**

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) この大会は清掃当番を、1日(土)は緑高校、熱田高校  
2日(日)は千種高校、名古屋商業高校 にお願ひしています。  
各校の部員は、競技終了後ただちに本部前に集合してください。

## 12 一般的注意事項

- (1) 本大会は大型映像を活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の**間違いがあれば本部に申し出てください。**
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。
- (2) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室（フィニッシュ付近スタンド下）において処置が受られます。**なお、**応急処置後の治療は、本人負担とします。**

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者が持参してください。

## ◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、**メインスタンドのみ**とします。それ以外での区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

- ・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、走高跳・棒高跳等で試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※許可区域以外での撮影や、他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、直ちに警察および関係機関に連絡します。